

愛知県公立高等学校PTA連合会

高P連だより

vol.80
2012

◆事務局◆
 名古屋市中区新栄一丁目49番10号
 愛知県教育会館6階
 TEL: <052>261-5886
 FAX: <052>241-7048
 【印刷】
 手島印刷株式会社
 TEL: <052>522-1635



PTAの皆さまへ

愛知県知事

大村 秀章

愛知県公立高等学校PTA連合会の皆さまには、日頃から本県の教育活動の充実に格別のお力添えを賜り、深く御礼申し上げます。

さて、本県では、次代を担う若者たちの健やかな成長のため、昨年六月から教育委員会が中心となって「あいちの教育に関するアクションプランII」の様々な取組を推進しており、本年度は「あいちの教育」のシンボルマークや標語を公募し、啓発に活用しています。中でも「公共の場におけるモラル・マナー」の向上を重点テーマに、子どもたちだけでなく、手本となるべき大人も含め、道徳性・社会性の向上について粘り強く取り組んでいくこととしております。

教育は 未来へつなぐ 希望の輪



また、2014年11月に本県で開催される「ESD（持続発

展教育）に関するユネスコ世界会議」の開催機運を盛り上げるため、キャッチフレーズとロゴマークを決定しました。ESDについて、広く県民の皆様を理解を深めていただくとともに、将来世代にわたり、すべての人が安心して暮らすことのできる社会づくりに向けてともに考えていく機会としたいと考えております。

未来を創る 私を育むESD



その他、いじめ問題対策、交通安全対策など、県として様々な機関との連携強化を図っておりますが、次代を担う若者たちの健やかな成長には、学校だけでなく、家庭・地域の果たす役割が大きいことは言うまでもありません。今後とも、保護者の皆さまには、一層の御協力と御支援をお願い申し上げます。



「キャリア教育」とPTA

愛知県公立高等学校PTA連合会

副会長 土師 康邦

今年度、愛知県公立高等学校PTA連合会副会長を務めさせていただいております横須賀高等学校PTA会長の土師です。皆様方におかれましては、平素より高P連活動に、ご理解とご協力をいただき感謝いたします。

少子高齢化の波の中、就学・就労に関わる問題や雇用形態の多様化などにより、若者の就職が不安定な状態が続いています。加えて、アメリカの不良債権処理に端を発した金融危機が全世界を覆い、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化し、深刻な社会問題となっております。このような大変厳しい状況の中で、21世紀を担う子どもたちが豊かな社会性と優れた創造力を養い、自ら責任を持つて行動できる人間として成長していくことは、すべての大人の共通の願いです。そのためには、子どもたちの生活の場である家庭・学校・地域社会が、それぞれの役割と責任を自覚し、子どもたちが意欲を持って生き生きと充実した生活を送るよう支援する必要があります。

具体的な支援方法の一つとして、今日的課題である「キャリア教育」があります。「キャリア教育」は、子どもたちが社会の一員としての役割を果たすとともに、それぞれの個性、持ち味を最大限発揮しながら、自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育です。近年、子どもたちの「生きる力」を育成する観点から、学校での学びと社会との関連性を教え、学習意欲の向上を図り学習習慣の確立を目指すものでもあります。その鍵を握るのは、保護者でありPTAです。保護者は地域の第一線で地域を担っている職業人でもあり、キャリア教育を支える地域コミュニティの構成員であり、PTA活動を通じて、その役割には大きなことがあります。

多くのPTA会員の皆様に各校、各地域でのPTA活動にご参加いただき、活発な情報交換や意見交換ができることを願っています。

全国高等学校PTA連合会
和歌山大会に参加して



名瀬地区
愛知県立名古屋南高等学校
PTA会長
伊藤 順子

第六十二回全国高等学校PTA連合会和歌山大会に参加してきました。テーマは「和をもって響き合え！〜つれもて広がる共有の輪〜」で、人とのつながりの大切さを感じさせられるものでした。

講演は和歌山大学観光部教授の尾久土正巳

氏の「はやぶさと和歌山大学の関わり」、基調講演は宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系教授の川口淳一郎氏の「『はやぶさ』が挑んだ人類初の往復の宇宙旅行、その7年間の歩み〜」でした。『はやぶさ』をテーマとした音楽と映像を見たりしながら心は遠い宇宙にいました。その中でナンバー1でなくオンリー1を目指すという言葉が印象的でした。見えるものは全て過去のもの、そこから新しいものを自分で考え、何をしたいか目覚めた時が大事だと教えていただきました。

二日目の分科会では「家庭教育とPTA」というテーマで活動の事例を発表され、今後の参考となりました。親も共に学び、学校と共に考え、活動を通して楽しさを共有し、PTAを活性化していきたいと思いました。

東海地区高等学校PTA連合会
三重大会に参加して



尾張地区
愛知県立津島高等学校
PTA会長
高木 伸嘉

6月15日、三重県総合文化センターにおいて開催された東海大会に出席させていただきました。梅雨の晴れ間で天候にも恵まれ、会場には東海地区から多数の出席者が参集し会場は熱気があふれ、三重県立水産高等学校PTAと愛知県立一宮南

高等学校PTAの活動が紹介されました。両校とも、PTA活動とおして学校・家庭・地域が連携し、生徒一人一人が地域の中で創造性豊かで思いやりのある人間へと成長することを目指すものでした。その姿勢に感動するとともに自分たちの今後の活動の参考にしたいと思いました。

後半の講演会においては、「生徒とともに進む料理道」という演題で三重県立相可高等学校教諭の村林新吾先生が食物調理科における実践を話されました。村林先生が生徒とともに「料理」に真剣に取り組むことをとおして、「生きる姿勢」を熱く生徒に伝えようとされている姿に感動しました。この大会で学んだことをこれからのPTA活動の取組に生かしていきたいと思えます。

全国大会報告

8月23日(木)、24日(金)に第62回全国高等学校PTA連合会大会和歌山大会が開催されました。

〈開会式・表彰式〉

開会式では相川順子会長が挨拶の中で「地域社会とともに高校生を育てることに、子どもも地域も共に成長し、地域の活力になっていく」ことを呼び掛けました。

表彰式では愛知県から前会長の榎本実氏、西春高等学校・岡崎北高等学校・蒲郡高等学校の各PTAが表彰されました。

〈基調講演〉

23日午後には基調講演があり、和歌山大学観光学部宇宙教育研究所・尾久土正巳教授「はやぶさと和歌山大学の関わり」宇宙科学研究所・川口淳一郎教授「『はやぶさ』が挑んだ人類初の往復の宇宙旅行、その7年間の歩み」の構成で行われました。

〈分科会〉

24日午前には6会場に分かれ、家庭教育、生徒指導などについて研究協議がされました。第4分科会「家庭教育とPTA」では、愛知県立一宮南高等学校PTA

会長長の春日井公成氏が「PTAからの発信―家庭との絆づくりをめざして」と題して意義深い発表があり好評を得ました。

〈尾久土正巳教授講演概要〉

和歌山大学は「はやぶさ」のプロジェクトの中でPR映像作成において音楽を担当



発表する春日井公成氏(一宮南高校PTA)

当し「はやぶさ」の活動を可視化して多くの人に感動を与えた。また「はやぶさ」がオーストラリアの砂漠上空に帰還した際の映像をインターネットにより世界に配信するなどの貢献をしたことを紹介した。和歌山大学の宇宙研究所も宇宙に関するユニークな教育活動を行っている。

〈川口淳一郎教授講演概要〉

オリンピック柔道女子で金メダルが得られた要因は闘志と根性だと思いが、成功するには、技術より自分を信じる力が大事だと思う。

「はやぶさ」で小惑星の表面からサンプルを持ちかえって調べると地球の内部が分かる。これにより地球内の対流の様子や、そこから引き起こされる地震のしくみ、また地球が誕生して以来の環境や気候の変化も分かってくる。さらに、予定されている「はやぶさ2」プロジェクトが成功すると、生命の起源が分かってくる。

「はやぶさ」プロジェクトでは、資源を小惑星から持ち帰ることが可能なことを証明することがまず大切であった。イオンエンジン、ロボット、スウイングバイなどの自分たちのアイデアにこだわったが、それは人類の歴史で初めての挑戦だった。宇宙研では、高い塔に立たなければ新しい水平線は見えてこないという意気込みで、未知のものに取り組んできた。

「はやぶさ」の経験が、日本の教育や研究において生かされることを願う。

学 校 紹 介

愛知県立豊橋南高等学校PTA



「本校全景」提供 P&F



豊橋南高校PTA 静岡大学見学

見学会、校外補導、大学見学会、緑化作業を柱に、度々学校に足を運ぶことで生徒たちの活動を応援しています。今年の大学見学会は、進学者の多い静岡大学と静岡県立大学を訪問し、学生気分に戻ってキャンパスを歩き、同じ高校に子どもを通わせる親同士が親しくなりました。

本校は昭和四十七年四月、時習館高校の高豊分校・二川分校が本校家政科（現在の生活デザイン科）に移管され、普通科を新設して創立されました。翌年度からは時習館高校との学校群募集、平成元年度から現在の複合選抜募集になりました。本校は豊橋市南部の自然豊かな丘陵に建ち、昨年度四十年記念式典を行いました。卒業生は一万四千人を超え、各方面で多彩な活躍をしています。開校当時から、緑に満ちた環境を自らの手でつくるために、生徒・教員・PTAが一体となって緑化に力を注いできました。昭和五十九年度には全日本学校環境緑化コンクールで特選文部大臣賞をいただきました。現在各学年普通科七クラス、

生活デザイン科一クラスが「厳にして自由」をモットーに、先輩たちから学習と部活動の両立を受け継いでいます。進路希望実現や各種検定に向けて指導の充実をはかり、また将来の職業観を形成するためのキャリア教育として、卒業生による人材バンクも活用しています。部活動では高校総体と国体に出場した陸上競技部はじめ、十四の運動部と十の文化部が活動しています。また平成七年度からオーストラリアビクトリア州のウエストボーン校と生徒たちの相互訪問を行っています。PTAは「生徒たちの応援団」を合い言葉に、教育情報・生徒指導・環境保健・研修の四委員会に分かれて活動しています。留学生のホームステイ受け入れ、校外補導、大学見学会、緑化作業を柱に、度々学校に足を運ぶことで生徒たちの活動を応援しています。今年の大学見学会は、進学者の多い静岡大学と静岡県立大学を訪問し、学生気分に戻ってキャンパスを歩き、同じ高校に子どもを通わせる親同士が親しくなりました。

愛知県教育委員会生涯学習課では、生涯学習情報システム「学びネットあいち」による学習情報の提供、また児童生徒の不登校などの相談活動を行う家庭教育コーディネーターの設置やホームフレンド活動などの家庭教育支援、放課後の子ども

平成25年度以降、高等学校でも順次実施される新しい学習指導要領は、「生きる力」、即ち、確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体のバランスのとれた力をはぐくむことを基本理念としています。「生きる力」とは、社会情勢が時代とともにめまぐるしく変化したとしても、生きぬくための力であり、学校においては組織的、計画的に学習しつつ、家庭や地域社会においては、親子の触れ合い、友達との遊び、地域の人々との交流などの様々な活動を通じて根づいていくものであります。したがって、「生きる力」をはぐくむためには、一人ひとりの自己実現に向けた学習を支援していく取り組みのほか、学校・家庭・地域社会の連携・協力を強化することが極めて重要な課題となります。

生きる力と生涯学習

愛知県教育委員会 生涯学習課



アートフェスタ フィナーレ

もたちの安心安全な居場所や地域住民との交流活動等の機会を提供する「放課後子ども教室」などの子育て支援、そして地域の人々の心よりどころとなる伝統文化・文化財の保存や活用など、様々な事業を通して、一人ひとりの学習支援や学校・家庭・地域社会の連携・協力を図っています。その他にも子どもたちの豊かな人間性や多様な個性を育むうえで不可欠な文化芸術振興の取り組みの一つとして、「アートフェスタ——愛知県高等学校総合文化祭——」を開催しています。本年度も高校生が創り上げた美術工芸や書道、写真のみずみずしい作品展示、郷土芸能や演劇、吹奏楽など躍動する舞台発表は人々に喜びや感動を与えました。

愛知県教育委員会では、今後も一人ひとりが豊かな人生を送るための生涯学習社会の推進を目指してまいります。保護者の皆さまにおかれましても、PTA指導者研修会をはじめとする様々な研修会への参加や、地域に根ざした青少年の健全育成に関する活動の支援について、御協力をお願いいたします。

『こころの電話』

教育相談

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

クローナイ
☎ 052-261-9671

「教育相談こころの電話」は、青少年とその保護者を主な対象とした電話相談です。相談を通して、不安や悩みの自主的な解決を援助することを目的としています。昨年度一年間で9,911件の相談がありました。相談を受けるのは、研修を積んだボランティア相談員です。名前を告げる必要はありません。また、相談内容が周囲に知られることは絶対にありませんので、安心して相談できます。

相談時間は、午前十時から午後十時までです。(ただし、年末年始は除きます。)

高校生からの相談内容

平成23年度に寄せられた高校生からの相談は884件で、全体の約8.9%でした。

最も多い相談は性に関する相談で286件あり、高校生からの相談の約32%を占めます。やはり、家族や先生には相談しにくい内容だからだと思われます。二番目に多い相談内容は、健康・不安で147件17%、三番目が家族関係106件12%となっています。

なお、平成22年度の相談件数が多い内容の順位も、平成23年度と同様となっています。

高校生の保護者からの相談内容

平成23年度に寄せられた高校生の保護者からの相談は716件で、全体の約7%でした。

最も多い相談は子どもの性格や行動に関する相談で173件あり、高校生の保護者からの相談の約24%を占めます。

す。この性格・行動の相談には、不登校の問題も含まれています。保護者の方が一番困り悩んでいるので、相談件数も多いと思われます。二番目に多い相談は、学校生活で113件16%、三番目が健康・不安で108件15%となっています。

なお、平成22年度の相談件数が多い内容の順位は、一・二番目については平成23年度と同様ですが、三番目は家族関係となっています。

お知らせ

当財団では、このほかにも「不登校」と「発達障害」をテーマに、専門家を講師に迎えて、保護者が基礎的な知識や子どもへの対応の仕方を学ぶ面接相談事業を実施しています。

興味のある方は下記のホームページをご覧ください。

あいち教育スポーツ

検索

事務局だより

愛知県教育公務員弘済会奨励金

7月24日(火)、高P連理事会の席で天白高校、半田工業高校、豊野高校、豊橋南高校の各PTAにそれぞれ10万円が、PTA活動を助成するため贈呈されました。

平成24年度東海大会報告

6月15日(金)に三重県総合文化センターにおいて、愛知県から629名、全体で1471名の参加で開催されました。

○研究協議では、一宮南高校PTAの春日井公成氏が「PTAからの発信―家庭との絆づくり」と題して発表をいただきました。この後、和歌山で開催された全国大会でも同じテーマで発表がありました。一宮南高校PTAと春日井氏に心から感謝を申し上げます。

○講演は、三重県立相可高校教諭の村林新吾先生の、「生徒とともに歩む料理道」。相可高校食物調理科が運営する教育実習施設「まごの店」をめぐる実践のお話でした。

○来年度の東海大会は6月21日(金)、静岡市市民文化会館で開催されます。

来年度の第63回全国高等学校PTA連合会山口大会について

平成25年8月22日(木)、23日(金)に山口大会が開催されます。

現在、山口大会実行委員会では、次のような検討がされています。

○参加申込みは、WEBを通じて方法に一歩化した。

○分科会の参加申込みについては、調整が難しいので、先着順にしたい。

*最終的にどのようなようになるかは来年5月に各PTAに配付される大会参加要項をご覧ください。

ホームページをご覧ください



<http://www.aichikoupren.org>

愛知県高P連

検索